



市内路線バスの利用者は、民間事業者による運行が始まった平成24年度から、4年間で**45万人も減少**しています。利用者の減少により、赤字路線が増え、現在の路線や便数を維持していくことが難しくなることも考えられます。

また、路線や便数の減少により利便性が低下することで、ますますバスの利用者が減少するなど、悪循環に陥る恐れがあります。

利用者の減少が進む 「バス」の現状



市内を走る鉄道のうち、JRの室蘭本線（沼ノ端～岩見沢間）、日高本線（苫小牧～鷗川間）の2路線について、今後は事業者だけでこれらの路線を維持していくことが難しい、という考え方が示されました。

また、北海道の公共交通に関する会議においても、地域による負担なども含めた検討や協議を進めながら、路線の維持に努めることが必要、という考え方が示されています。今後は、路線の維持・存続に向け、沿線の他の自治体とも連携し、新たな考え方で関わっていくことが求められています。



通勤・通学・通院の足 「鉄道」はどうなる？



公共交通は乗ってまもりましょう！



市内人気イベントの開催時などに、JRの利用啓発のポスターを近郊駅に掲示しています。また、市内路線バスにおいて、道南バス(株)、市内教育施設と協同し、定期的にデコレーションバス、ギャラリーバスを運行しています。買い物や通院以外にも、さまざまな場面で公共交通機関を積極的に利用することで、“私たちの足”を守ることにつなげています。

さらに便利な公共交通をめざして

市ではユニバーサルデザインタクシー導入支援事業として、合計4台の導入に対し、補助を実施しました。今後も、苫小牧全体の公共交通網の見直しの検討などを含め、誰もが利用しやすく、高齢社会に対応した公共交通を目指していきます。これからも、皆さんの積極的な利用をお願いいたします！



市内路線バスの時刻表はコチラから！

JRの時刻表検索はコチラから！



4月9日(月)／若草小学校

入学式

市内の多くの小学校で入学式が行われ、色とりどりのランドセルを背負った新1年生たちが初登校しました。教室では、担任の先生に呼び掛けられると、みんなが手をピシッと挙げてりりしい表情に。これから始まる学校生活に、胸を膨らませる1日となりました。

表紙から

15 市からのお知らせ

福祉／暮らし／催し・講座／スポーツ／相談／募集

25 市政トピックス

がん検診・特定健診等実施医療機関一覧

26 みんなのひろば

今月のかけ橋／今月の文化交流／コクホのトクホ
／(国保の特別な保健事業)／編集後記 ほか